



高甫っ子

NO. 8
須坂市立高甫小学校
文責 宮入

心をひとつに！ がんばった音楽会！

10月16日に「ふるさと音楽会」を行いました。

音楽会に向けて、夏休み明け2学期のスタートとともに、本格的に練習が始まりました。校長室にいと、音楽室での合唱や合奏を練習している歌声や演奏がよく聞こえてきました。最初はただどしだった歌声や演奏が、練習の回数を重ねていくうちに、どんどん上達していく様子が伝わってきました。途中から、練習場所が体育館に移ってからは歌声や演奏が聞こえなくなったので、当日の発表を楽しみにしていました。

当日は、多くのご来賓や保護者（家族）の皆様も、発表を聞きに来てくださいました。たくさんの人を前にしての、ステージ上の発表は緊張したと思いますが、どの学級の誰もが、実に堂々と、そして楽しそうに、それまでの練習の成果を十分に発揮してくれました。「心をひとつに！」…みんなので気持ちを揃えた合唱と合奏は、とてもすばらしく感動しました！



1年生～6年生の全校
のみなさん、心に残る
音楽会をありがとう！
みんな、とても輝いて
見えましたよ！

柿の皮むき体験会

10月27日に「柿の皮むき体験会」を実施しました。初めに、下八町の荒井 清治様より



81年前の戦争で長崎に原爆が落とされたこと、その長崎で被爆した柿の木の実の種から育てた苗をもらって植えたのが、「タッキー」と「ナッキー」であること、かつて高甫は「柿の里」と呼ばれていたことなどを教えていただき、最後に「命を大切にしていくこと」についてお話いただきました。続いて、地域づくり推進委員会・PTA役員の方々に、準備やお手伝いをいただき、全校で「ころ柿づくり」を皮むきから体験しました。12月半ば頃には、美味しい「ころ柿」がいただける予定です！

シャッフル道徳の取組（その2：前号からの続き）

9月16日に行った第1回目の「シャッフル道徳」の4～6年生の内容を紹介します。

【4年】授業者…越野 智夫 先生（2年担任）

テーマ「あきらめずに、どうしたらできるかを考え、挑戦する心」

授業では、星野富弘さんの「字が書きたい」という実話を通して、事故によって身体が動かなくなった中でも、「字を書きたい」という願いを諦めず、工夫と努力を重ねた姿について考えました。実際に口にペンをくわえて文字を書く体験を取り入れ、星野さんの思いや努力を実感的に捉えました。最後に、自分自身の生活を振り返り、困難に出会ったときに「どうしたらできるかな」と考え、諦めずに挑戦することの大切さについて考えました。

【5年】授業者…田口 京香 先生（4年担任） 教材「クマのあたりまえ」

クマと石との対比を通して、辛いことも含めて生きているからこそ味わえる体験であることに気づくことができました。また、自分自身の当たり前を振り返ることで、当たり前の日常や生きていることのありがたさを学びました。

【6年】授業者…宮入 勝彦（校長） テーマ「言葉の力 ～「会話」の場面で考えてみよう～」

「友だちから電話がかかってきて『今からゲームしよう！』と誘われたけど、宿題が終わっていないくて断りたいとき」などの場面で、自分の言いたいことはしっかり伝えつつ、相手を傷つけないようにするにはどう言えばよいか。自分も相手も大切にする「アサーティブ」な会話表現について考えました。

※第2回目の「シャッフル道徳」は、12月16日（水）に行う予定です。